

剣道指導者講習会「指導法」・「日本剣道形」開催報告

1 日時

「指導法」 令和4年10月29日(土)

「日本剣道形」 令和4年10月30日(日)

2 会場

三条市体育文化会館(三条市荒町2丁目)

3 本講習の趣旨

「指導法」においては、新剣連所属団体の級位審査員及び会員の指導力向上を図ること。

「日本剣道形」においては、剣の理法を学び資質の向上を図ること。

3 受講対象者

「指導法」 段位制限無し

※各加盟団体における級位審査員へは受講のお願い。

※称号申請予定の方は2年に1回の受講が必要

「日本剣道形」 段位制限無し

※六・七・八段受審を予定されている会員は、年に1回の受講が必要

4 講師

・「指導法」 教士八段 山田義雄先生 教士八段 吉田 仁先生
教士七段 渡辺久雄先生 教士七段 佐藤治彦先生
(一財)新潟県剣道連盟審査・講習委員会委員

・「日本剣道形」 教士八段 山田義雄先生 教士八段 吉田 仁先生
教士七段 渡辺久雄先生 教士七段 佐藤治彦先生
(一財)新潟県剣道連盟審査・講習委員会委員

5 講習内容

講習に先立って、諏訪安貞先生から「スポーツ庁委託事業令和4年度令和の日本型学校体育構築支援事業」の説明の後、授業協力者養成講師登録をお勧めいただきました。

(1)「指導法」(1日目) 受講者42名

「木刀による剣道基本技稽古法」の理解を深め実践できると共に、その活用方法を修得することを目標に、午前は山田講師による講話後、「指導法」実技で木刀による剣道基本技稽古法、午後は剣道具を着装し吉田講師の示範指導で竹刀による剣道基本技稽古法の実技行いました。その後は指導稽古で閉講となりました。

(2)「日本剣道形」(2日目) 受講者145名

剣道の原点である剣の理法を学び、剣道の正しい普及発展に役立たせることと日本剣道形の修練により指導者の資質向上を図ることをねらいとして、午前、午後とも「日本剣道形」実技を修練しました。その後、全講師が元に立ち、指導稽古・相互稽古で閉講となりました。

6 総評

指導者が心得ていなければならないのは、剣道の基幹とも言うべき①「日本剣道形」②「審判法」③「指導法」であります。②についての講習会は半日ではありましたが、計画どおりに開催し佐渡講習を残すのみとなりました。①、②の本講習も多数の受講者を得まして開催できましたことは誠に力強く感じております。

第1日目の「指導法」(木刀による剣道基本技稽古法)にあつては、講師の一本一本丁寧で鮮やかな示範と解説に受講者は繰り返し入念に修練し、その真剣な取り組みに時間が経つごとにその練度が上がってくるのが見られました。

ご存知のとおり「木刀による剣道基本技稽古法」は基本技を修得させるため、「竹刀は日本刀」であるとの観念を基とし、木刀を使用して「刀法の原理・理合」「作法の規範」を理解させるとともに、適正な対人的技能を中心に技を精選し指導するものとして制定されたものであります。初心者等の習技者に対し木刀を使用し剣道を正しく体得させる指導の方法でもあります。日頃からの稽古に取り入れ剣道のレベルを高めていただきたいと思ひます。

2日目の「日本剣道形」は、山田講師の講話をいただきました。

午前・午後とも日本剣道形の修練を行い、受講者は指導者としてのレベルの向上に真剣に取り組まれました。

「日本剣道形」を正しく継承し、次代に伝承することは剣道人の使命と考えます。

「刀法の原理」「攻防の理合」「作法の規範」「手の内の乱れ」「体の崩れ」「刃筋も無視した打突」を是正する教育のために制定されたとも言われています。日本剣道形、木刀による剣道基本技稽古法、そして竹刀稽古法を学ぶことにより、刀・木刀・竹刀のつながりが有効打突の理解を深めることとなります。

全剣連では、剣道を正しく普及するための指導の在り方について

- ・「剣道理念」「剣道修練の心構え」「剣道指導の心構え」を基盤にして指導を徹底する。
- ・「日本剣道形」「木刀による剣道基本技稽古法」「竹刀を使用しての稽古法」の位置づけとつながりを踏まえた各々の指導法の充実を図る。
- ・講師要員(指導法)の講習・研修を実施し、指導講師の養成を図る。

等の方針となっています。これを受けて、新剣連においてもレベルアップ目指し指導者の資質の向上を図ることが急務であることから、本年度から6・7・8段及び称号の受審資格として明記し、本講習を行っているわけでありませう。

剣道を良くするには、指導者は前述したとおり①「審判法」②「日本剣道形」③「指導法(木刀による剣道基本技稽古法)」3本の柱の知識と実技を身に付けていただくことが求められます。それに基づき指導していただければ、幼少年剣士はじめ皆様の剣道が良くなると確信しております。正しく剣道を学び生涯にわたり剣道に親しんでいただきたいとの願ひでもあります。共に携え新剣連の更なる資質の向上と発展を祈念申し上げます。

(審査・講習委員長 遠山正宣)